

平成 30 年 4 月 13 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 グ ロ ー バ ル ウ ェ イ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 各 務 正 人
(コード番号：3936)
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 部 長 山 本 慶 一
TEL. 03-5441-7193

スイス子会社設立及び ICO 実施に向けた FINMA への申請並びに連結決算への移行に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 4 月 13 日開催の取締役会において、スイス子会社の設立及びその子会社での ICO 実施に向けた FINMA（スイス金融市場監査局：the Swiss Financial Market Supervisory Authority）への申請について取締役会で決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。これに伴い、平成 31 年 3 月期第 1 四半期より連結決算への移行を予定しております。なお、下記 2. に記載のとおり、スイスにおいて ICO を実施するためには、FINMA により ICO の認可を受ける必要があります。設立する子会社が実施を予定している本 ICO については、その内容は現時点では未定ですが、今後検討を進め、FINMA により認可を受けた後、その内容及び実施を後日決議する予定です。

また、本 ICO は日本居住者を対象としたものではなく、日本居住者が本 ICO により発行されるトークンを購入することはできないものとする予定です。

記

1. 子会社設立

(1) 子会社設立の理由

グローバルウェイは、働く人が投稿する企業のレビューサイト「キャリアコネクション」の運営を行うウェブメディアサービス事業と法人向けクラウド型システム基盤構築事業を展開しております。

このたび設立する新会社は、自分の空き時間をチケットにして販売できるサービス「TimeTicket（タイムチケット）」事業のグローバル展開を目的としており、また、今後新規発行し、タイムチケット（当該サービスの内容は、下記【参考】②をご参照ください。）で利用可能となる予定のトークン「タイムコイン（略称：TCO）（仮称）」を利用した ICO（Initial Coin Offering）実施を予定しています。スイスは、将来タイムチケットに機能追加予定であるブロックチェーン技術の有能な人材の確保ができること、また、FINMA は ICO 実施のガイドラインを制定するなど、ICO 実施に適していると判断し、スイスに子会社を設立することを決定いたしました。これに伴い、平成 31 年 3 月期第 1 四半期より連結決算への移行を予定しております。

(2) 設立する子会社の概要

(1) 名称	TimeTicket GmbH	
(2) 所在地	スイス	
(3) 代表者の役職・氏名	CEO 各務 正人	
(4) 事業内容	タイムチケット事業のグローバル展開	
(5) 資本金	スイスフラン 20,000（約 2,240,000 円）（注）	
(6) 設立時期	2018 年 5 月	
(7) 決算期	3 月 31 日	
(8) 出資者及び出資比率	当社 100%	
(9) 上場会社と当該会社の関係	資本関係	当社の 100%出資子会社であります
	人的関係	当社は当該会社に対し役員を派遣いたします
	取引関係	現時点では未定であり、今後検討いたします

(注) 使用為替レート 1 スイスフラン=112 円換算（2018 年 3 月 31 日）

(3) 日程

取締役会決議 平成 30 年 4 月 13 日
子会社設立 平成 30 年 5 月 30 日（予定）

(4) 業績に与える影響

今後の見通しについては、確定次第、速やかに開示いたします。

2. FINMA への申請

(1) FINMA への申請

グローバルウェイの子会社である TimeTicket GmbH はスイス法人であり、スイスにおいて ICO を実施するためには、同国において同法人に適用される法令等に準拠し、FINMA により ICO の認可を受ける必要があります。FINMA への本 ICO の認可申請については、下記(2)に記載の日程に沿って進めることを予定しております。

(2) 日程

FINMA への認可申請 平成 30 年 6 月 (予定)

FINMA による認可 平成 30 年 7 月～8 月 (見込み)

(注) FINMA への認可申請時期については、その実施主体であるスイス子会社の設立が 5 月末を予定しているため、申請は 6 月となる予定です。また、FINMA による認可については審査に時間がかかることが想定されるため、認可を受けられるのは 7 月～8 月を見込んでおりますが、実際の審査状況によってその時期は変わる可能性があります。

(3) 業績に与える影響

本 ICO については、その内容は現時点では未定ですが、今後検討を進め、FINMA より認可を受けた後、その内容及び実施について決議を行い、本 ICO の詳細を速やかに開示する予定です。また、本 ICO が当社の業績に与える影響につきましても、現時点ではその内容等が確定していないため明らかではありませんが、判明し次第、速やかに開示する予定です。

【参考】

① ICO の仕組みと特徴

企業等の発行者がトークンを発行し、トークンの購入者はビットコインやイーサリアムといった流動性の高い仮想通貨で決済を行います。

ICO を計画している企業等は、あらかじめ調達した仮想通貨の用途やトークン保有による便等を記載したホワイトペーパーと呼ばれる事業計画書を公表し、購入者側はこうした事前情報に基づいて購入の判断をする仕組みとなっていることが一般的です。

② タイムチケット

タイムチケットは、自分の時間を販売してサービスを提供したい人とサービスを購入したい人を仲介するプラットフォームサービスであり、時間を販売する人はサービス内容(時間、価格、サービス内容等)を記述したチケットを発行し、購入希望者がチケットを購入する仕組みとなっています。

タイムチケットには、インフルエンサー・クリエイターが自分のファン向けに時間を販売できるエンターテインメント系チケット、専門的な知識やスキルを有する個人が販売するエキスパート系チケット、誰かの悩みを聞いてあげるための悩み相談系チケットなどがあり、これらチケットのサービスを必要とする人々との間で時間が売買されています。タイムチケットのチケット販売者は、自分の得意なことを好きな時間に販売することができ、一方、タイムチケットのチケット購入者は、企業を介した高価なサービスを利用することなく、リーズナブルな価格でより自らの希望に合ったサービスを手にすることが可能となります。

また、タイムチケットの利用者は直接的・間接的に社会貢献することもできます。タイムチケットは、チケット販売者が売上から任意で社会福祉団体等に対する寄付を選択できる機能を備えています。販売者は、1～100%の寄付率を自ら設定でき、教育・環境・医療・難民支援など、さまざまな団体から寄付先を選択することが可能です。

③ タイムチケットのビジネスモデル

タイムチケットでは、自分の空き時間を販売する人のサービスをチケットと呼びます。チケット販売者は自分の提供するサービス内容、金額、時間、その他条件等を明記したチケットを発行します。チケットの購入を希望するチケット購入者がチケットの購入申請を行い、販売者により承認されると取引が確定します。その後、指定された条件でサービスが実施され、チケット購入者から支払われた金額から運営者であるタイムチケットの手数料を引いた金額が、チケット販売者に支払われます。

以上